

1. 基本情報

評価対象年度 (令和2 年度)

施策コード	311	施策名	母子の健康づくりの支援
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	31	安心して子どもを産み育てられるまち	
主担当部	福祉・子ども部	主担当課	子育て支援課

2. 施策の方向

10年後の姿	健康診査や予防接種により母子ともに健康が保たれ、母子保健に関するさまざまな相談や情報発信を通じて、子育て家庭が安心していきいきと子育てに取り組んでいます。
施策の方向性	1 妊娠期からの母子の健康づくりを支援します
	2 安心して育児に取り組めるよう、母子保健に関するさまざまな情報を発信します

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
母子保健事業(ネウボロ事業)	1, 2	子育て支援課	9,980
妊婦健康診査事業	1	子育て支援課	34,221
両親学級事業	1, 2	子育て支援課	434
妊婦・乳幼児歯科健診等事業	1	子育て支援課	1,220
任意予防接種事業	1	子育て支援課	20,669
総事業費(施策の合計)			66,524

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	こんにちは赤ちゃん事業(全戸訪問)の訪問率		目標値	99.5	99.5	99.6	99.6	99.6
	説明	生後4か月までの乳児がいる家庭に対する訪問	単位 %	実績値	99.3	99.5			
	抽出方法	所管課統計		達成率	99.8%	100.0%			
②	名称	乳幼児健診の受診率		目標値	98.0	98.0	96.0	98.0	98.0
	説明	3~4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児	単位 %	実績値	95.9	93.9			
	抽出方法	所管課統計		達成率	97.9%	95.8%			
③	名称	母と子どもの健康に関する情報提供や相談体制が充実していると思う人の割合		目標値	—	36.6	36.6	36.6	38.6
	説明	—		単位 %	実績値	34.6(※)	30.7		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	83.9%			

※平成29年度実績値

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> ●現状の訪問率、受診率、各事業の参加者数等を維持していくことで安心した子育てに取り組むことができる。 ●妊娠届出時の面接、訪問相談員等との事例検討会や健診時に母子の状態を確認することで、子への虐待防止を図ることができ、また、家庭への支援策等を周知することができ、子育てをしやすい環境を形成している。市の保健師と関連機関との相互連絡も出来ている。 ●母子保健事業において令和2年10月より産後ケア事業(訪問型)を開始した。半年間で約70件の利用があり、産後直後の母親の育児、授乳相談等を受けた。 ●各事業においては医師、歯科医師、心理相談員等、必要最小限のスタッフで実施しているが、妊産婦の方からの不安、相談等に十分対処できていると思われる。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、妊産婦のニーズを踏まえ事業の実施に際して集団での対応から少数・個別の対応に変更した。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

① 施策を進める上での課題	協力産婦人科医院・人材等の確保が課題である。
① 課題に対する令和4年度以降の取組	本市には産婦人科医院がないため、所沢市、新座市のいくつかの産婦人科に協力いただいて受診票を利用できるが、更に拡充していく。また、助産師等の専門職の募集・育成や係の人員体制の強化を図る。